

超音波ラインストーン接着機 取扱説明書



はじめに

このたびは当社製品をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。

- あなたの安全を守るため、操作の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分内容を理解してください。
- この取扱説明書をお読みになった後は、紛失・損傷の発生しない場所に保管し、必要なときすぐ読めるようにしておいてください。
- あなたがこの製品を転売または譲渡する場合は、この取扱説明書を新しい所有者にお渡しください。
- この取扱説明書に書かれていない使用方法、あるいは間違った使用方法を行なった結果において招いた人身事故および物的損傷に対しては、当社は一切の製造物責任法 (PL 法) 上の責任を負いません。

- ・本書の内容の一部、または全てを無断で転載する事はおやめください。
- ・仕様変更等により、本書の内容と一部異なる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ・本書の内容についてご不明な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら、お手数ですが当社までご連絡ください。

目次

1. 安全上のご注意 (必ずお読みください)
2. 仕様一覧表
3. 操作方法
4. 先端金具の交換
5. 故障と思われる場合に
6. お手入れ
7. アフターサービスについて

1. 安全上のご注意 (必ずお読みください)

「安全上のご注意」では、本機をご使用になる人や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するために重要な注意事項を説明しています。

| シンボルマークの定義について..... | |
|---------------------|---|
| | 警告 : 記載事項を守らないと、死もしくは重症となる事故を招く恐れのあるもの |
| | 注意 : 記載事項を守らないと、軽傷を招いたり、他の物的財産に損害を及ぼす恐れのあるもの |
| 表示の例 | |
| | : の記号は「してはいけないこと」を意味しています。 |
| | : の記号は「しなければならないこと」を意味しています。 |
| | 分解禁止 |
| | 接水禁止 |
| | 電源プラグを抜く |
| | 一般的な指示 |

| | |
|--|--|
| | 水をかけないこと。また、水のかかる場所に置かないこと。 ● 故障の原因となるほか、感電やショートの原因になります。 |
| | 改造や分解はしない。 ● 絶対に分解したり、修理・改造はしないでください。 火災・感電・けがの原因になります。 |
| | 子供だけで使用させない。幼児の手の届くところで使用しない。 ● 感電・けがの原因になります。 |
| | 製品のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 ● 感電やショートの原因になります。 |
| | 次のような環境では絶対に使用しないこと。 ※直射日光が当たるなど高温となる場所 ※チリやホコリ・腐食性ガスの発生する場所 ※振動・衝撃の多い場所 ※濡れた場所・湿気の多い場所 ● これらを守らないと故障の原因となるほか、場合によっては感電など重大な事故を招く恐れがあります。 |
| | ハンドピース側の接続端子と出力コードは、絶対に取り外さないこと。 ● 感電・火災・けがの原因になります。 |
| | 出力コードを電話、パソコン等他の機器への接続はしないこと。 ● 故障の原因となるほか、重大な事故を招く恐れがあります。 |

| | |
|--|---|
| | ぬれた手で差込みプラグ、操作部を絶対にさわらない。また、水等をこぼさない。 ● 感電の恐れがあります。万一こぼしたときは、直ちに使用を中止してください。 |
| | 本体を倒したり、強い衝撃を与えない。 ● 故障の原因になります。 |
| | 電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重たいものをのせない。 ● 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 |
| | 差込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜く。 ● 感電・ショート・発火の原因になります。 |
| | 電源プラグを抜く 使用時以外または、臭いや煙が出る等の異常があった場合は直ちに電源スイッチを切る。 ● 事故の原因になります。 |
| | 電源プラグを抜く 先端金具の取り付け、取り外し、およびお手入れの際は、差込みプラグをコンセントから抜く。 ● けがの原因になります。 |
| | 電源コードだけを持って本体を移動しない。 ● 故障や事故の原因になります。 |
| | 電源コードや差込みプラグが傷んだり、破損しているときは使用しない。 ● 感電・ショート・発火の原因になります。 |
| | 交流 100V 以外では使用しない。 ● 火災・感電の原因になります。 |
| | 使用中はコードを抜かない。 ● 差込が不十分だったり、差込が抜けても動作しません。誤作動の原因になります。 |
| | 発振中や使用直後はホーンに触れない。 ● 火傷など、けがの原因になります。 |

⚠ 注意



水をかけないこと。また、水のかかる場所に置かないこと。

● 故障の原因となるほか、感電やショートの原因になります。



改造や分解はしない。

● 絶対に分解したり、修理・改造はしないでください。火災・感電・けがの原因になります。

⚠ お願い

ハンドピースの空打ちはしないでください。

● 先端金具やホーンの消耗を早めます。

お手入れの際は、ベンジン、シンナー等で拭かないでください。

また、殺虫剤、整髪用、掃除用等のスプレーをかけないでください。

● 樹脂や塗装部が変質したり、破損する恐れがあります。

本体とハンドピースは、別のセットのものとは入れ換えないでください。

● 本体とハンドピースは、セットで調整されていますので、別のものとは入れ換えて使用すると接着不良や故障の原因となります。

2. 仕様一覧表

| 仕様 | | 予備品 | |
|---------------|--|----------|----|
| 発振周波数 | 56 kHz | 接着台 | 1個 |
| 最大出力 | 25 W | 六角レンチ | 1本 |
| 最大消費電力 | 25 VA | スパナ | 1個 |
| 電源 | AC 100V ~ 240V 50/60 Hz | 先端金具 (小) | 1個 |
| 外形寸法 (単位: mm) | 発振器 (本体) 約 450g | テスト用ストン | 1枚 |
| 重量 | 発振器 (本体) 約 450g ハンドピース 約 150g (出力コード含む) | | |
| 電源ケーブル長 | AC 側 1.8m / DC 側 1.5m | | |
| 出力コード | 50cm | | |

※仕様及び外観は、改良の為予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

3. 操作方法

- 電源コードを接続します。
- 本体の電源スイッチを入れます。
- 発振器のタイマーつまみを最短にセットしてください。
- ハンドピースを手に持ち、ストンに対して垂直にセットしてください。
- ハンドピース上部の押しボタンスイッチを押してください。本体のLEDランプが緑色に点灯します。LEDランプが消えたら接着完了です。押さえを緩めてください。
- 接着にあたり必ず備え付けの接着台に布が一枚になるようにセットし、ストンシートの上から押してください。
- 詳細取扱いについては、本体の説明銘板を確認してください。

4. 先端金具の交換

❗ ストンのサイズに合わせて、先端金具を選択してください。

- 電源が切れていることを確認します。
- ハンドピースの先端金具穴にL型レンチを入れ、ホーンに付属のスパナをセットしてL型レンチを回して外してください。
- 交換する先端金具をホーンにねじ込み、L型レンチを穴にさしホーン部をスパナで固定し、L型レンチを回して締めてください。(ネジ穴・接合面にゴミが無いようにしてください。)
- 交換については、備え付けの工具以外は使用しないでください。故障の原因になります。

保証書

本書は、本書記載内容で無償修理を行うことを約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社にお問い合わせください。 ※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

| | |
|----------|----------|
| 機種名 | 製造番号 |
| お買い上げ年月日 | 保証期間 6ヶ月 |
| ご住所 〒 | |
| お名前 | 様 |
| 店名 | |
| 住所 〒 | |

※上欄に記入または捺印の無い場合は必ず販売店発行の領収書またはその他購入年月日、店名を証明するものを貼っておください。

朝日産業株式会社 〒456-0051名古屋市中熱田区四番1丁目11-22 TEL052-671-5191

5. 故障と思われるまえに

● 万一、本機の調子が悪いとき、修理を依頼される前にもう一度、次の点をお確かめください。

| 症状 | 点検項目 | 対策 |
|------------------------------|--|--|
| 電源プラグが入らない。(電源ランプが点灯しない) | ● 電源プラグが接続されているか。 ● 本体とアダプタ、アダプタと電源コードが接続されているか。 ● アダプタのLEDが点灯しているか。 | 電源プラグ、アダプタを接続してください。 |
| ハンドピースを握っても発振しない。 溶着できない。 | ● 電源スイッチが入っているか。 ● 出力コードが断線していないか。 ● 溶着タイマーの設定時間が短いのか。 ● 先端金具が緩んでいないか。 ● 溶着タイマーが終了する前にハンドピースの握りを緩めていないか。 ● 先端ホーンが振動しているか。 | スイッチを入れてください。 修理を依頼してください。 溶着タイマーの設定時間を長くしてください。 六角レンチとスパナを使って締め直してください。 発振LEDランプが消えるまでハンドピースを押し続けてください。 修理を依頼してください。 |
| ハンドピースが発熱した。 | ● タイマーつまみを最大にして安みなく動作させていないか。 ● タイマー制御が間なくなっているか。 | 一旦電源を切り、温度が冷めるのを待ってからご使用ください。 使用をただちにやめ、修理を依頼してください。 |

6. お手入れ

ホーン先端や先端金具は、こまめに清掃を行ってください。

- ❗ 清掃を行う前に、必ず電源が切れていることを確認してください。
- ❗ ハンドピース先端に異物が付着していると、発振不良になる場合があります。接着不良の原因になります。

清掃方法

アルコールを浸した布や綿棒・ブラシなどでホーン部(ハンドピース先端の金属部)や接着金具などを拭いてください。

❗ 本体およびハンドピースの丸洗いは絶対にしないでください。

7. アフターサービスについて

◆ 保証書について

保証書は、お買い上げの日から半年間です。保証書には必ず「お買い上げ日、販売店名、製造番号」などの記載があることをお確かめの上、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

保証書に必要事項が記載されていない場合、たとえ保証期間中でも有償修理になる場合がありますので、ご注意ください。

◆ 修理を依頼されるとき

本書の「故障と思われるまえに」にしたがって調べていただき、直らない場合は次のようにしてください。

- 保証期間中
製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご依頼ください。
※保証期間中でも有償修理になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。修理可能な製品については、ご希望により有償で修理いたします。
※修理を依頼される場合、故障内容と故障箇所をできるだけ詳しくお申し出てください。

【無償修理規定】

- 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無償修理いたします。
- 保証期間内に故障して無償修理を受ける場合は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- やむをえずお買い上げの販売店に修理が依頼できない場合(ご転居・ご贈答等)は当社までご相談ください。
- 保証期間内でも、次のような場合には有償修理になります。
(イ) 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
(ニ) 本書のご提示がない場合。
(ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(ヘ) 消耗部品の交換。
(ト) 本機付属品の交換。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受ける場合があります。
- 無償修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社へお問い合わせください。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。